

小学校女性教員の自死への恐怖に対処し改善したケース

岡野桃絵

日本ホメオパシーセンター福岡博多南

RAH12期卒

日々の仕事、母業、妻業をこなしていくハードな生活の中での突然の気持ちの不安定さ。周りで自死した人のように「自分もあなるのでは？」という不安にホメオパシーで対処し、過去の記憶を遡り、インナーチャイルドを見つける事で、日常を取り戻したケースです。

小学校教員 女性 49歳

長く通ってくださっているクライアントさんで、コンサルの時間が自分の癒しになると言ってくださっていた。

これまでも多くの症状が出たり、急性病などをホメオパシーで対処していた。

2021年5月

突然起きた鬱感

10日ほど前から眠れない

2日おきに沈む日がある

身体や頭が重く、おっくうになり頭痛。

自分で何か暗示をかけているよう。

ムシムシする。暑い。

前の週に車をぶつけた。

罪悪感。

友人の夫が鬱病で自殺。

【考察】

明らかに外的影響を受けている様子。

しかし、ご自身の未解決な感情がなんらかを引きつけたり、それらを解決したいがために起こり得る場合もあるので、過去に今の自分の感情や様子に近かった時はないか思い出してもらうことにした。

小学生の時のイジメを思い出した。「どうしてそんな事をしたのか?」「なんでこんな事をするのか?」と思いながらも同級生をいじめてしまっていた。

それは、その子に対して何かあったわけではなく、当時は心がガサガサしていた。
それは、ひいおばあちゃんが亡くなった事が引き金だったのではなからうか？
これまでに振り返りもしなかった出来事がどんどん出てきた。

【処方にあたって】

眠れていない事が1番の問題。とにかく寝れてさえいれば、心も身体も魂も休める。車通勤、肩こりなどもあって、脳内活動過多なのは顕著なので、湯船に浸かり、ストレッチするもすすめる。

- ・外的影響を受けていることからサポートAttack
- ・家系的な甲状腺の問題やアトピーなどもある事からTub LM3
- ・色々な考えが次から次にある、それによっての不眠、ガサガサしていた当時の心、人が自分を苦しめると思っている、周期的な症状から、chin200c
- ・予期不安、鬱にRainbow30c

【処方】

- ・サポ-Attack+TubLM3+chin200cを随時10~15滴をペットボトルの水に入れてとる。
 - ・頓服としてRainbow200cのレメディを不安な気持ちになった時にとるように。
 - ・原因の追求<なぜこうなったのか？>にこだわらない
- それを見つけるのは難しいので、現状を受け止め、出来る事を探す事や、過去に同じような気持ちになった出来事はなかったかを遡って思い出してみる。それを書き留めてみる。

数日後に来たメッセージが

「この現実を受け止める事が辛く、苦しい。」との事。
そのような感情がある時、砂糖玉のAcon やArg-nをとるように伝えた。
また、だるい気持ちも、だるくならなければ、いつものように動いて回復が遅れるのだろうかから、だるい日はそれを受け入れましょうとメッセージした。

度々、頭がクラクラしたり、ふわふわ、ムカムカしているが頭痛は全くない状態だそう。
症状が変わらないようならレメディを変える事も考えていたが、変化があったのでそのまま続けるようにした。

【その後のご本人からのメッセージ】

『ドキドキウツウツがぐーんと減りぐっすり眠れるようになって、すごく楽になった。先週末での落ち込みが嘘のよう。今の私、本当に今日を楽しむ！を自然に感じられるようになってるんです。以前から頭ではわかっているけど、それこそストーンとは落ちていなかったみたいで、でも本当に日々、いろいろあってそれこそ思い通りにならないこといっぱいだったんですけど、この5日間は「そんなことあるよねー、仕方ないよね〜」って、それすら笑えちゃう感じ。自分の芯が太くなったような感じです』とのこと。

多くの場合、鬱病は心の問題で、心の中で解決できるように思いがちです。

しかし心も身体と同じように、病気にかかって浄化し、皮膚や臓器や骨と同じように再生していくものだと思います。

しかし一般的には心はそのような仕組みではなく、自死があれば、原因の追求や周りの人が「自分が出来る事はなかったか」を考えたりしますが、癌になった人に対して、多くはそのようには思いません。

それらがもし、身体の症状であれば、身体を安静にする必要があると受け止められても、心に関しては、待ち時間を考えずに「気持ちを切り替えて」などと、すぐに治る事を望みます。癌で亡くなる人は受け入れられるけど、自死は受け入れられないというのではなく、心も同じような病気なのだと思うと、受け入れ方も、出来る事が変わるように思っています。